

研修名	専門課程 無人航空機の安全管理と測量への活用【集合】 (令和6年度～) (平成28～29年度:「特別課程 ドローン等による調査・測量〔ドローン調査の導入から応用まで〕」、平成30～令和4年度:「専門課程 無人航空機(ドローン)の安全管理と基本操作(I期・II期)」、令和5年度:「専門課程 無人航空機の安全管理と操作の基礎(I期・II期)」)					事務	技術
						○	○
目的・重点事項	測量業務に従事する実務者自身が、無人航空機を運用させる際の安全管理や機器管理、三次元測量等の基礎知識、無人航空機の基本操作技術を修得することを目的とする。 以下の点を重点項目とする。 ① 無人航空機に係る航空法や無人航空機飛行マニュアル、運用における安全管理や機器管理等の基礎知識の修得 ② 取得した画像や計測データを用いた3次元測量等の基礎知識や知見の修得 ③ 無人航空機の基本操作技術の修得						
対象者	国土交通省、他府省、都道府県、政令指定都市、特別区、市町村、独立行政法人等、団体の職員で、測量の分野で無人航空機の活用を検討している業務に従事している者						
定員(人) ※目安	国土交通省	他府省	地方公共団体	独立行政法人等	団体	計	
	7	1	6	1	1	16	
研修期間	27.0時間 5日間			令和6年 10月 7日(月)～ 令和6年 10月 11日(金)～ 令和6年 12月 2日(月)～ 令和6年 12月 6日(金)			
カリキュラム内容 (予定時間)	1. 講義(10.5) ① 無人航空機に係る航空法、無人航空機飛行マニュアル ② 公共測量の実施について ③ 無人航空機等で撮影した画像等による三次元測量 ④ 無人航空機に搭載したレーザスキャナによる三次元測量 ⑤ 国土交通行政における無人航空機等の活用事例(生産性向上、災害対応) 2. 実習(14.0) ① 無人航空機の基本操作と機器管理の実習 3. その他(2.5) 入校式、修了式、オリエンテーション、ガイダンス <p style="text-align: right;">計 27.0</p>						
前年度からの 主な変更点	測量に特化した研修に変更、開催数減(2期→1期)、定員減(24人→16人)						
担当	測量部 測量新技術研修官 (TEL: 042-321-0957)						
備考	テキスト代・実習費(予定) 15,000円						

